

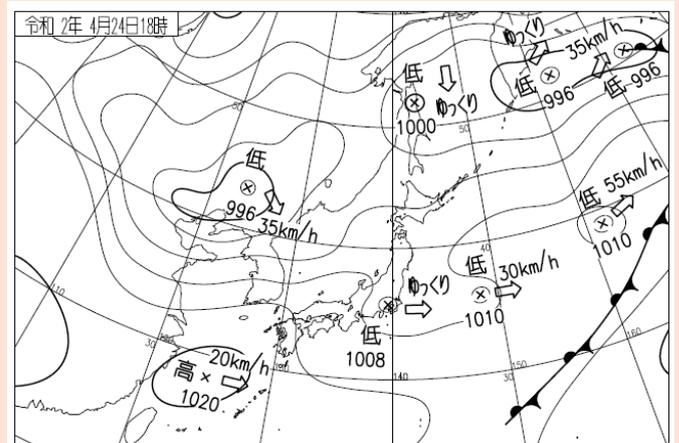
今日のおおたか中 令和2年5月19日（火）

## 流山にヒョウ!?!?

4月24日(金)、関東地方には昼頃から雷を伴う激しい雨が降っていました。

夕方には、千葉県には局地的に発達した雨雲がかかり、10分程度、直径5~6ミリくらいの「ひょう」が降りました

ひょうが降ったということは、このあたり一帯に積乱雲ができたと考えられます。現に、天気図からも、24日の夕方ごろ、千葉県北西部が低気圧の中心にすっぽり入っていることがわかります。



図：気象庁HP

低気圧の中心に入ったということは・・・

急速な上昇気流が生じ→急速に積乱雲が生じ→上空でたくさんの雲粒が発生→雲粒同士が凝固→大気によって融かされることなく塊のまま落下してきた氷粒。これが「ひょう」です。

直径5mm以上の氷粒が「ひょう」。

直径5mm未満の氷粒は霰「あられ」です。

関東地方は前日の23日朝から雨が降り続き、気温が低い状態が続いていたため、氷粒が融けずに、そのままひょうとして降ってきたのでしょう。



図：ウィキペディア

24日のひょうは、そこまで大きな粒では無かったにしろ、植物にとっては大きなダメージ。野菜などがしおれてしまった被害もあったそうです。大きなものになれば、時速数十kmにもなり、車等の金属を変形させてしまう力があります。

これからの季節、積乱雲が発達し、ひょうの予報も出てくるでしょう。

**ひょうが降るときには、黒い雲が広がり、冷たい風が吹き始めます。  
むやみに外出せず、屋内に入り、様子を見て行動しましょう。**